

★★★ <第25回知的財産翻訳検定試験【第12回英文和訳】> ★★★  
≪ 2 級課題 ≫

**【問 1】**

(翻訳対象箇所番号 1)

定めに従い本発明の実施例の詳細をここに開示するが、開示された実施例は単に本発明の例示に留まるものであり、本発明が様々な形態で実施され得るものであることを理解すべきである。

(翻訳対象箇所番号 2)

また、本明細書で使用されている語句は限定する意図で用いられたものではなく、本発明の記述の理解を援ける意図で用いられているものである。

(翻訳対象箇所番号 3)

本明細書において、「取り外し可能に固定する」という用語およびその派生語は、二つ以上の物体が、繰り返し分離連結が可能のように非永続的に連結されている状況を記述するものである。

(翻訳対象箇所番号 4)

また、本明細書において、「永久的に固定する」という用語およびその派生語は、二つ以上の物体が分離できないように連結されている状況を記述するものである。このような固定の例としては、いろいろな接着剤、例えば糊または樹脂による固定、ボルトナットのようなハードウェアによる固定、溶接による固定、などが挙げられるが、これらに限られるものではない。

**【0020】**

発明に用いられる要素のうち、類似の要素または類似の機能を果たす要素は、それぞれ同一の参照番号で示す。図を明瞭にするために、各図においては、図に関連する記述において必要となる参照番号のみを示す。そのような記述を行なうにあたり、「上側」、「下側」、「右」、「左」、「前」、「鉛直」、「水平」などの用語、並びのこれらの派生語は、図 1 に示される発明品の向きを基準として用いられている。

**【問 2】**

**【背景技術】**

低侵襲外科医療では、外科手術は 1 つ以上の小さな切開部を通して導入された細長い器具を使用して行われる。外科医が手術野を視認することができるよう

にするため、腹腔鏡または内視鏡等の細長いレンズおよび照明装置が別の小さな切開部を通して手術野に挿入される。通常、この光学機器のレンズは、スコープのイメージをテレビジョンモニターへ中継するカメラヘッドに結合されている。外科医にとっては、このモニターによって提供される手術野の視界が唯一のものなので、明瞭で解像度の高いイメージが不可欠である。

#### 【0004】

低侵襲外科医療における一般的な問題は、腹腔鏡や内視鏡のレンズの曇りである。気体で膨張させた腹腔等の体腔にレンズを挿入するとき、そのレンズは室温である。しかしながら、体腔は内部組織および器官から放出される水蒸気で飽和している。この水蒸気が、体温であるかまたはほぼ体温に近いので、水の微小滴がより低温のスコープレンズ上に凝縮し、外科医の手術野の視界が不明瞭なものになる。レンズが曇ると、外科医はその器具を抜き取り、レンズを洗浄し、その後、手術野へその器具を再挿入しなくてはならないが、そこで再度曇りが生ずることになる。

#### 【問3】

##### 【請求項1】

酸化還元装置、特に水素－酸素酸化還元装置であって、前記装置が、

第1のガス特に水素ガスおよび／または第2のガス特に酸素を消費しかつ／または生成する少なくとも1つの酸化還元反応を行うようになっている少なくとも1つの酸化還元ユニットを含み、

前記少なくとも1つの酸化還元ユニットが、

前記第1のガスから前記第2のガスによる汚染をなくしかつ／または第2のガスから前記第1のガスによる汚染をなくす少なくとも1つのガス精製ユニットを含む

酸化還元装置。

##### 【請求項2】

前記少なくとも1つの酸化還元ユニットが燃料電池である請求項1に記載の酸化還元装置。

##### 【請求項5】

前記少なくとも1つのガス精製ユニットが酸素と水素ガスを反応させて水を生成する反応を触媒する少なくとも1つの触媒ユニットを含む請求項1に記載の酸化還元装置。

**【請求項 6】**

前記少なくとも 1 つの触媒ユニットが少なくとも部分的に白金金属からなる少なくとも 1 つの触媒要素を有する請求項 5 に記載の酸化還元装置。

**【請求項 7】**

前記少なくとも 1 つの触媒要素が、前記少なくとも 1 つの酸化還元ユニットの少なくとも 1 つの電極のひとつの面に塗布された触媒層として実装されており、前記面が、反応領域から離れる方向に向いている請求項 6 に記載の酸化還元装置。